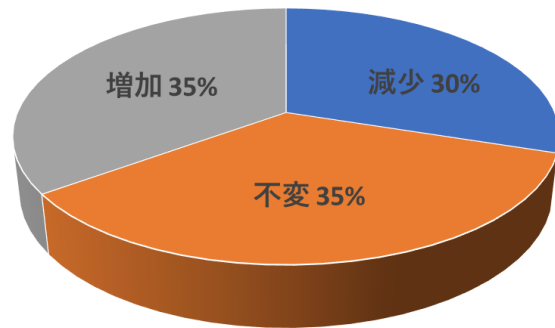


令和5年度景況調査

第三四半期(10月～12月)

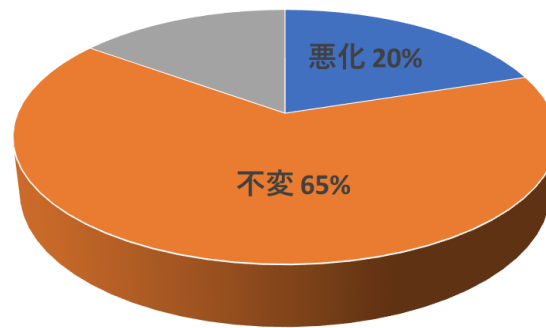
①調査結果

売上高の状況（前年同期比）



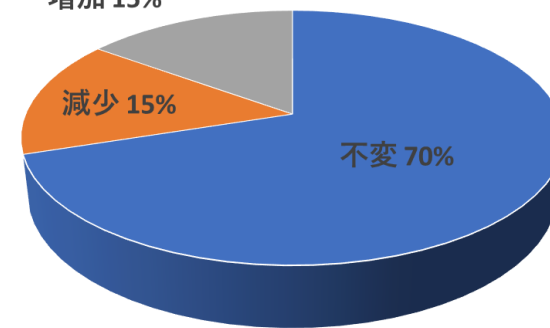
前年比経常利益の状況

好転 15%

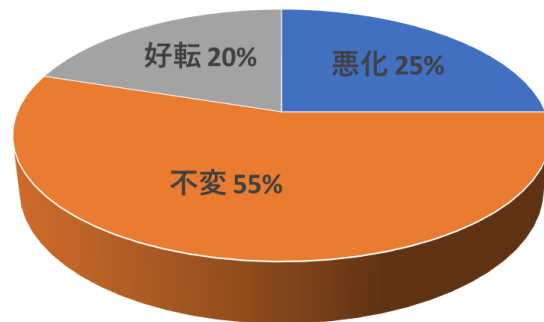


従業員数の変動

増加 15%

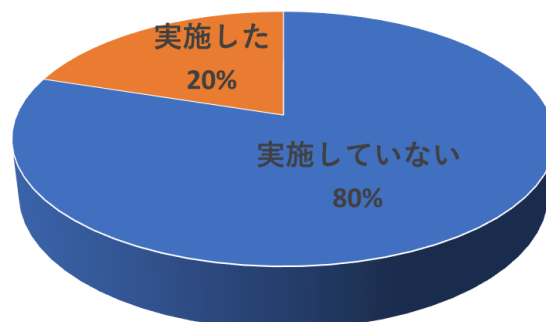


自社業況の状況



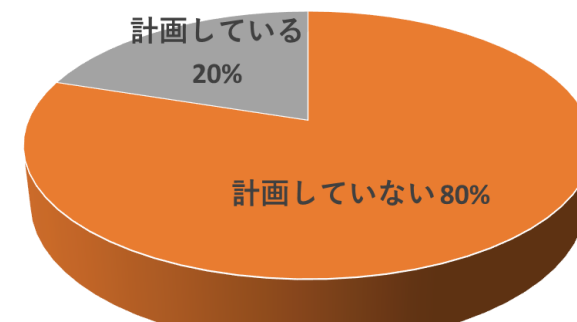
設備投資の実施状況

実施した
20%



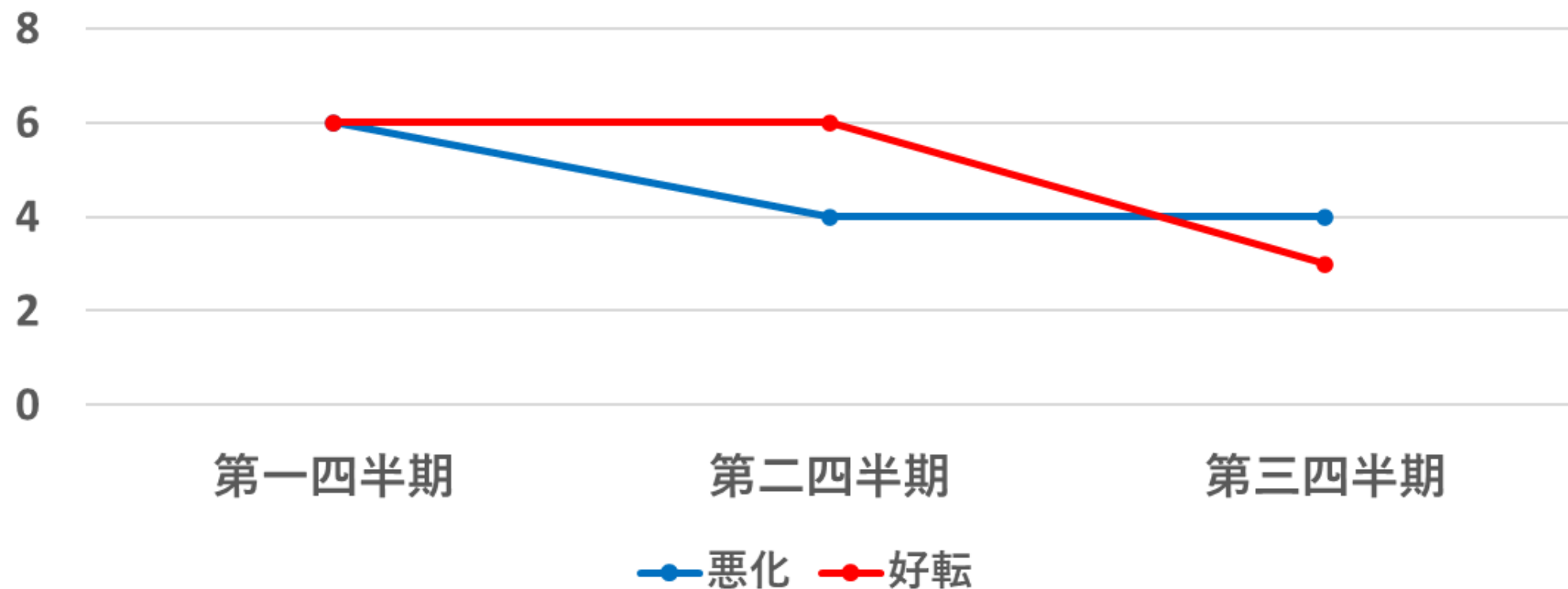
設備投資計画（来期）

計画している
20%



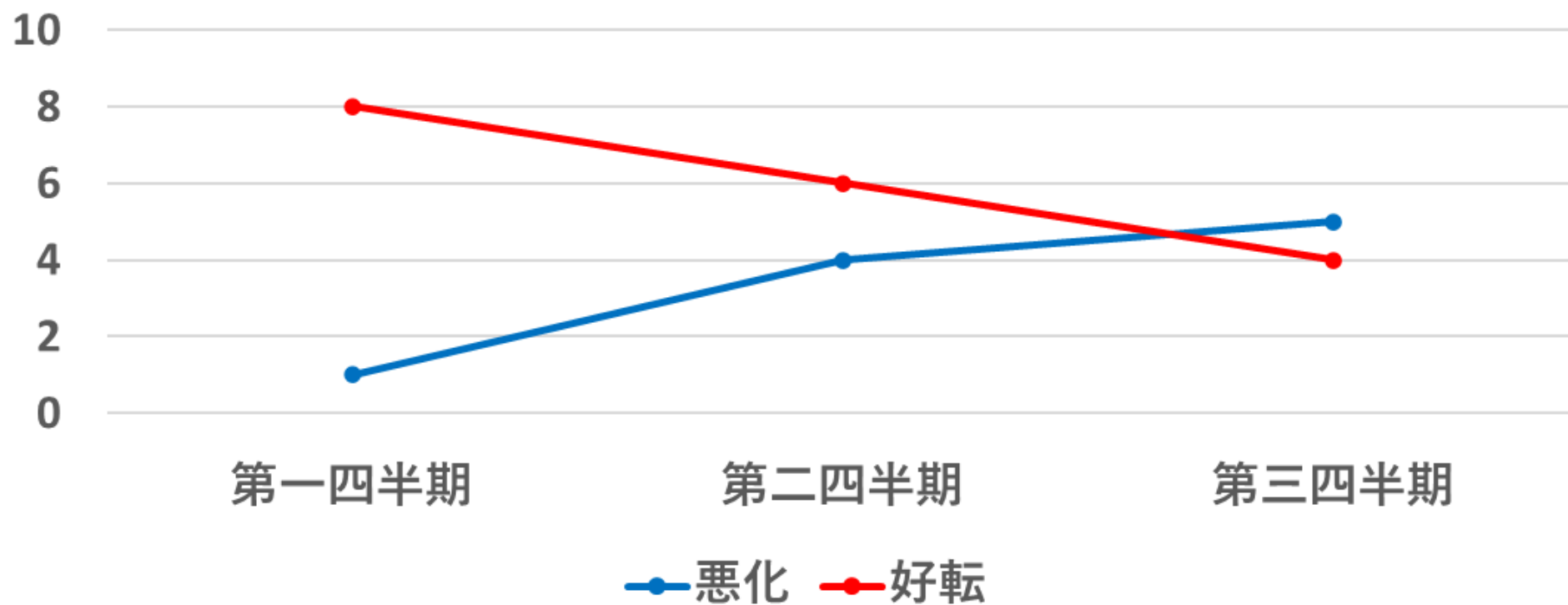
調査結果②

経常利益推移（前年同期比）



調査結果③

自社業況推移（前年同期比）



④分析結果

まず、前年同期比の売上高については、20社のうち7社（35％）が増加している一方、6社（30％）が減少したと回答しており、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が緩和されたことによる消費者の需要増加は落ち着きを見せています。

次に、経常利益については、「好転した」と回答した事業者は15％ほどと、前期・前々期調査時から連続して減少傾向にあり、原材料価格高騰による原価率の上昇から、利益確保がより難しくなっているものと思われます。

設備投資については、今期は全体の20％の事業者が実施したと回答している。また、来期の設備投資の計画についても全体の20％の事業者が実施を予定しており、1年を通して現状維持の経営を行う傾向が強いことが窺えます。